

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取西高等学校

重点項目	グローバル人材育成重点校	提出日	令和3年5月11日
------	--------------	-----	-----------

1 学校目標	
「深い学び」「幅広い学び」による高い進路目標の実現 ～探究的な学びの充実と高大接続改革への対応～	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>○学問の奥深さに触れ、深く学ぶことの喜びを実感できる授業を研究・実践する。</p> <p>○「グローバル人材育成重点校」として、グローバルリーダーに必要な資質を要請する。</p> <p>○学習と部活動の両立を支援し、スポーツ・文化芸術の充実を図る。</p> <p><数値目標></p> <p>○海外研修・留学等に参加した生徒数 35 名</p> <p>○公益性の高い国内外における大会参加者数 120 名</p>	<p>○「思索と表現」やSGHセミナーにおける大学講師等のオンライン講義や海外の大学・高校との交流・連携によって生徒の論理的・協同的・探究的思考力、コミュニケーション能力が高まった。</p> <p>○各種大会、科学オリンピック等に幅広く参加し、優秀な成績を修めた。活動の成果発表により、多くの生徒が刺激を受け意欲の向上が見られた。</p> <p><数値結果></p> <p>○海外研修・留学等に参加した生徒数0名</p> <p>○公益性の高い国内外における大会参加者数217名</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>○学校連携チャレンジ・サポート事業「英語のディベート活動に関する研究」 生徒が国内外を問わず、自分の意見や考えを英語で正確に伝えられる力と、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を育成するために、日々の英語の授業において言語活動をどのようにディベートに繋げていくかを講師から学び、グローバル人材を育成する教員の授業力向上につながった。</p> <p>【独自事業】</p> <p>○鳥取県内版生徒グローバルESD研修プログラム 生徒が近隣の施設等を訪問し、地域の自然環境や文化を維持・育成する視点から地域の財産について学び、多面的・多角的な視点で相互に学び合う活動を行うことで、システム思考、協働性、未来志向、戦略的思考といった持続可能性コンピテンシーを身につけるとともに、グローバルリーダーとしての資質・能力を養われた。</p>	
4 総合所見 (成果・評価)	
<p>SGH事業の取組を継承しつつ、生徒の知的活動を支援する体制を整えた結果、新型コロナウイルス感染症の広がりにより多くの研究会などが中止、またはリモートでの実施になったにもかかわらず、全国的な研究大会に参加する生徒数はそれほど減少せず、大会で優秀な成績を収める生徒は増加した。(公益性の高い各種研究会・学会や大会に参加した生徒は200名を超え、約60人の生徒が上位入賞を果たした。)また、海外派遣事業など、予定していた多くの事業が中止または計画通りには実施できなかったが、研修場所を海外から近隣に変更するなど、実施可能な形態で事業を実施するなどした結果、ESDやSDGs等の視点による探究的な学びにより、生徒のグローバル/ローカルな課題に挑戦する意欲が向上するなどの効果が得られた。令和3年度も実施可能な形でも事業が行えるように努めたい。</p>	

※枚数任意